



■発行/櫻井しげる後援会 ■住所/315-0013 茨城県石岡市府中3-11-28  
 ■電話/自宅 0299-22-3881 ■FAX/0299-22-3881 ■携帯 080-3150-8451  
 ■WEB <http://www.sakurai.click/> ■E-Mail [sakurai@sakurai.click](mailto:sakurai@sakurai.click)  
 ■Facebook <https://www.facebook.com/shige.sakurai.3> **討議資料**

令和2年が始まりました。年明けの話題は暖冬でしたが、1月下旬からは中国の武漢で発症した新型コロナウイルスによる感染が日本のみならず世界を巻き込み、マスコミも連日報道しています。

一方、石岡市を取り巻く地域医療再編が大きく動こうとしています。私たちそして家族の将来にわたる健康と生命にかかわる問題であり、お金が動く案件でもあります。「必要な時に必要な医療が身近にあり安心」となるよう、市民そして議員一人一人が関心を高め「何を失い、何を得るのか」議論を深めましょう。休日夜間の救急診療および年300名弱の救急搬送先の確保喪失の危機です。

## 一、地域医療対策について

### (1) 地域医療計画案を決定

#### (1) 石岡地方医療カンファレンス

石岡市・小美玉市・かすみがうら市の3市長と石岡市医師会会長で構成する「石岡地方医療カンファレンス」は「地域医療に係る対策を検討する専門委員会」で審議され、提案された中核病院の再編や産科の設置などを盛り込んだ石岡地域医療計画案を了承しました。

#### (2) 石岡地域医療計画の概要

中核病院の石岡医師会病院と石岡第一病院を統合して公立化し「石岡地域医療センター」として整備。回復期病床を増やし、土浦協同病院など第三次救急病院からの患者の受け入れを強化。分娩できる医療機関が市内に無いことから、早期の産科新設も盛り込んでいます。

さらに慢性的な病床不足の山王台病院に急性期病床を40床増やす内容となっています。

地域医療センターは最短で、令和5年1月の開院を予定。運営経費は毎年1億6800万円を想定し、これらは地方交付税収入で賄い、全額を指定管理料として地域医療振興協会への支払いに充てます。

#### (2) 債務の全体像が不明

#### (1) 石岡市の負担に対する不安と疑問

2月4日、市長から議会に対して地域医療計画案の説明がありました。議会の関心は、地域医療計画案を進めた場合に、石岡市が純粋に負担する金額とその範囲、そして計画案に盛り込まれた内容が守られるのかという点です。

そのため、関係病院の財務状況を明らかにする関係帳簿の提出を求める声もある中、**第一病院は累積赤字の9億円弱**を石岡市に求めない。一方、**石岡市医師会病院の赤字2億円弱**の清算に石岡市が加わるのかは未定との回答がされました。

#### (2) 新たに示された解決すべき課題

現在、石岡市医師会病院の存続が厳しい状況であり、地域医療センター開設予定の令和5年1月まで医療環境を確保するために、医師会病院を運営させた場合の赤字について、市が支援を検討せざるを得ないことが表明されました。

また、医師会病院の土地と建物の処分方法についても説明がなく、全体像がはつきりしないことから、定例議会で活発な議論が予想されます。

#### (3) 石岡市民医療シンポジウム

#### (1) 市民からの地域医療を憂える意見発表

石岡市民医療シンポジウムが2月9日、ふれあいの里で開催され、地域医療計画の概要が説明された後、市民の意見発表が8人（7組）から、医師会病院が担ってきた役割の重要性、今後の医療環境への不安、地域医療計画の内容を議論するよう求める意見等が発表されました。

#### (2) 講演「地域に医療を残すために必要なこと」

石岡地域医療計画策定に地域医療有識者として参加した城西大学伊関教授が約1時間半にわたって自身の体験を盛り込んだ講演を行いました。

全国各地の病院再生あるいは再編にかかわってきた経験値をもとに、公立病院の必要性とその財源説明、地域の活性化に大きな役割を果たす病院の役割などの実例が紹介されました。

短絡的に「公立病院は赤字」「計画通りになるはずがない」との声もあるようです。地域の未来を考える長期的な視野と併せて市民も、議会も議論を深める必要があります。



## 一、第4回定例会で行った一般質問

### (1) 豚コレラ感染防止対策について

平成30年9月、国内では26年ぶりとなる豚コレラが岐阜県の養豚農場で発生し、茨城県内への感染が心配される。石岡市にも多くの養豚事業者があり、豚コレラ感染防止対策について伺います。

#### (1) 豚コレラはどのような伝染病なのか伺う

**経済部長答弁要旨** 豚コレラウイルスによって起こる豚、イノシシの熱性伝染病で高い致死率が特徴。治療方法が無く、豚コレラに感染した場合、原則24時間以内に屠殺し72時間以内に埋却又は焼却作業を完了しなければならぬ。人への感染は無く仮に肉等を食べても人体への影響は無い。

#### (2) 感染の拡大状況について伺う

**育経済部長答弁要旨** 岐阜県の農場で発生以降、合計15万頭以上が殺処分されている。関東地方では埼玉県の秩父市と小鹿野町等、ほかに群馬県では野生のイノシシの感染が確認されている。

#### (3) 感染拡大防止対策について伺う

**経済部長答弁要旨** 他府県の状況は、殺処分や施設の消毒、野生動物の侵入防止対策に加え野生イノシシからの感染防止として経口ワクチン入りの餌を滋賀県・福井県・三重県・石川県・富山県・長野県・静岡県・愛知県の8県85市町村でベルト状に約10万個散布している。群馬県は約60万頭を対象に豚コレラワクチンの摂取が始まり、11月末にはヘリコプターによる野生イノシシへのワクチン入り餌の空中散布実証実験も行っている。

#### 再質問 茨城県内の感染防止対策を伺う

**経済部長答弁要旨** 県知事がワクチン摂取と、茨城空港検疫探知犬の常時配備等の要請を行なっている。豚舎等の出入りに際して車両や人の洗浄・消毒の徹底を指導、野生動物侵入防止柵の設置を進めており、今回補正予算に計上している。

#### (4) 養豚事業者への支援策を伺う

**経済部長答弁要旨** 消毒徹底のため県からの消石灰の配布、国の野生動物侵入防護柵設置補助、市独自の利子補給等を用意している。

**再質問** 1頭でも感染すれば、周り全て殺処分という状況が切迫する中での危機感を伺う

**経済部長答弁要旨** 市内の事業者は25戸、30農場、飼育数は2万5千頭。イノシシの血液検査や国県の対策を、スピード感をもって取り組む。

**市長答弁要旨** 茨城県の経済産出額400億円中、30億円ぐらいが石岡市の産出額。弓豚等の銘柄もあり石岡市を牽引する産物であり、豚コレラの感染が広がれば大きな打撃が生じる。国県と綿密な連携を図り、早急な対策が必要と考えている。

**提言** 26年前の豚コレラ経験者が市役所にいると思います。市長も当時は経済部職員だったのではないですか。情報をそうした方々から入れていただき、万全の体制で臨んでいただきたい。

#### (2) 市民会館の整備について

広報いしおかに、市民会館について来年4月1日をもって閉館するのお知らせが掲載された。石岡市民会館の個別施設計画で、新たに施設整備を行う方針を示しているが、どこにどのような規模と機能で整備するか不明なため質問いたします。

(1) 個別施設計画について伺います。「耐用年数の50年を超えているため・・・建設工事を実施する」としているが耐用年数の根拠を伺う。

**生活環境部長答弁要旨** 鉄筋コンクリート造りで、減価償却資産等の耐用年数50年を採用している。

(2) 整備費用について伺います。公共施設等適正管理整備事業債を活用するとの答弁が、今期定例会では利用できないと変わった。2年前からわかっていたこととお粗末である。合併特例債の検討はしているか伺う。

**生活環境部長答弁要旨** 着工までどうしても時間を要するため社会情勢や財政状況等の支援制度と照らし合わせ合併特例債の検討も含め、有利な財源を確保するよう努めたい。

**意見** 社会情勢や財政状況を考慮するならば、2年早く個別施設計画を作るべき。6年前に耐震不足を指摘されながら放置してきた。この個別施設計画には一貫性が無く、昨年9月の一般質問から1年間待ったが、変わったのは4月から閉館という事実だけである。

(3) 場所・仕様等の決定方法について伺います。**生活環境部長答弁要旨** 市民会館整備は、検討委員会を設置し市民や利用団体の他、議員の意見を伺いながら進めていく。基礎調査の完了に合わせて令和3年度の検討委員会設置を考えている。

**再質問** 基礎調査の内容について伺います。**生活環境部長答弁要旨** 施設機能と規模に関し市民アンケートを実施し、候補地を選定。環境調査、交通アクセスほか地質調査などが必要となる。

**再質問** 検討委員会と並行して基礎調査を行い、市民会館建設に動きだすべきである。市民サービスを打ち切るということで、迅速な対応をするところが、市の責任だと思いが市長の考えを伺います。

**市長答弁要旨** 市民会館は市民文化の拠点。活動団体、関係者の意見等、そういった方の夢をかなえる拠点である必要がある。個別計画の策定を急ぐあまりそういった部分を軽んじてしまった。新たな市民会館が市民文化の拠点・シンボルとなるよう頑張りたい。

**提言** 計画策定が遅すぎたことを指摘しており、そのことは担当課も含め反省していただきたい。決まっていないことを迅速に決めて議会に示し、議論を重ね、より良い市民会館になることを期待している。

### (3) 防災情報伝達手段の多重化について

国は、災害時の気象警報や避難勧告等の伝達、あるいはJアラート（全国瞬時警報システム）の情報伝達手段の多重化を求めている。

#### (1) 防災情報伝達手段の整備・活用について何う。

**総務部長答弁要旨** 石岡市の防災情報伝達手段の整備状況は、防災行政無線、ホームページ、メールマガジン、フェイスブック、ツイッター等を整備し、正確かつ迅速に情報を届ける取り組みを行っている。防災行政無線が聞き取りにくい場合、無料のテレフォンサービスあるいはホームページ等で内容を確認できるようにしている。

#### (2) 情報伝達手段の課題について何う。

**総務部長答弁要旨** インターネット環境が原則の中で、本人登録が必要である事。また屋外拡声器の放送内容が聞き取りづらいとの意見が出ている。現在進めている防災行政無線の個別受信機を全世界に配備し確実に防災情報を伝達できる体制になるものと期待している。

**(3) スマートフォン活用によるPUSH型情報伝達システムの導入について何う。**

**総務部長答弁要旨** 議員お尋ねのスマートフォンを活用したシステムは、防災行政無線の内容を音と文字で、アプリ登録者に伝えるシステム。台風等の悪天候で放送が聞こえない時、市外通勤時、あるいは家を離れていても防災情報を取得しやすい仕組みであり、調査研究を考えている。

**市長答弁要旨** この仕組みは、**情報伝達手段の多重化につながり、安定性・確実性を確認しながら調査研究を進めるよう指示する。**

**提言** **長野県の自治体で既に採用していますので、コストに見合うかも含め調査していただき、早めの導入に結び付けていただきたい。**

## 三. 議会報告会（第4回）

### (1) 議員全員が出席した初めての報告会

平成28年10月末に第1回議会報告会を開催以来毎年度（石岡地区と八郷地区で）実施してきました。今回は、これまで1度も参加しなかった年長議員が出席し、市議会議員全員出席による議会報告会となりました。全議員参加で報告会を開催できたことは、一つの成果であると感じています。



石岡地区は、市役所本庁舎ロビー脇のメロディアスホールで、八郷地区は総合支所会議室で、いずれも夜7時からの開催となりました。

### (2) 報告に関する作業は全て議員のはずが

議会報告会は、常任委員会毎に議員自らが案を練り、配布資料を作成することになっています。私の所属する総務委員会は「石岡市の防災対策について」をテーマにしました。内容及び資料作成は私と大和田委員でまとめました。

ルールに反し職員に資料を作成させた常任委員会では、報告内容の質問に対して明快な回答ができず、市民から厳しい指摘を受けることに・・・。

### (3) 議会への厳しい意見、そして評価する声も

石岡地区では、市民から活発な質問や意見表明があり、議員に「もっと勉強してほしい」「事業の問題点を認識しているのか」といった厳しい指摘も。一方、八郷地区では、議員の暴力事件と上曾トンネルに関する質問や意見が出されました。

議会報告会は「開かれた議会」の一つの形です。「議会と市民が語り合う機会を作ってくれて感謝する」との声もいただき、勇気百倍の思いです。

## 四. 国民宿舎つくばね

### (1) 老朽化と修繕費を理由に閉館を検討

国民宿舎「つくばね」は、昭和49年7月にオープン。かつては結婚式や筑波山観光、地域住民の宴会等で盛んに利用されましたが、老朽化が著しく台風19号の影響で天井が落下する等、安全性の確保にも不安が出ています。加えて、**宿泊部屋26室のうち10部屋が雨漏りや臭気で常時使用できない**ことが報告されています。そのため、管理運営を委託している産業文化事業団と閉館に向けたスケジュール調整を行いたいとして、12月17日の経済建設消防委員会に報告がありました。

### (2) 管理責任は誰にあるのか

代替施設を用意することなく突然の閉館宣言をした市民会館同様に、「つくばね」も老朽化が激しく修繕費が嵩むため閉館したいとのことですが、内容を聞いて驚きました。部屋26室のうち10室は常時使用ができない。実に38%が使用不能の宿泊施設だったわけです。管理責任担当課である市観光課として「つくばね」の管理運営を指定管理者として受託する産業文化事業団は何を管理していたのか驚くばかりです。ただし、営業収入が先細る中、大規模なリニューアルに多額の予算を投入できなかったというジレンマも垣間見えているのは事実です。

### (3) 新たな国民宿舎「つくばね」

現在の「つくばね」に代わる宿泊施設の整備については、具体的な説明がされていません。建て替えの際には「ゆりの里」周辺、あるいはフラワーパーク周辺などでアクセスが容易で近傍に集客施設がある場所を候補に挙げる声が以前からありました。いずれにしても新たな施設整備の方針を急ぎまとめ、議会に説明するよう市に求めていきたいと思えます。

## 五. スリッパ豪打事件（その2）

### (1) 議員辞職勧告決議案提出

徳増千尋議員が湖北環境衛生組合（石岡市・小美玉市・かすみがうら市・土浦市で構成する、し尿処理組合）職員をスリッパで豪打した暴行事件をめぐり、石岡市議会第4回定例会開会日（12月3日）に、石橋議員を提案者として14名の賛同議員をもって議員辞職勧告決議案が提出されました。

### (2) 提案理由に対する質疑

法令違反である暴力行為及び石岡市政政治倫理条例違反であるとする提案理由に対して高野要議員が質疑に登壇しましたが、何を勘違いしたのか決議案への反対討論的な発言を繰り返し、質問しないまま議席に戻ろうとして議長から声を掛けられあわてて質問するという場面がありました。

高野議員は、（警察に）訴えていない。暴行したか認定されていないといった趣旨の質問を繰り返していました。逆に暴行事件の際に高野議員も現場にいたのではないかと指摘され、現場にいたことを認めたくえ、事実であれば辞職は仕方がないといった発言をして質疑は終了。

### (3) 議員辞職勧告決議可決として流会？

討論では、共産党の小松議員が暴力は断じて容認できないと訴え、保守系議員が鎮く珍しい光景が出現。高野議員の反対討論を経て採決に入り、案件の対象者である徳増議員は除斥（採決から除外）となり採決の間、一時的に議場外に出ました。私も賛成票を入れ、18対2の賛成多数で議員辞職勧告決議案を可決（法的拘束力は無い）。

採決後、除斥解除となった徳増議員が戻り自席に着席すると辞職勧告決議に賛成した議員が次々に退席し、出席議員が定足数を割ったため流会の危機となりました。議長は「休憩」を宣言。たまたま昼時であったため昼休憩に入りました。

### (4) 暴力行為の議員との審議は拒否

議場からの退席理由は、暴力行為を行った議員が反省することもないまま、政治倫理条例を設置する議会議員として、同じ場での審議はできないとするものです。昼休憩が終わり、議長の「再開します」との宣言があり、徳増議員の席を見ると空席。これにより退席する議員は無く、市長から補正予算案等の議案提案が行われ議会初日を終わりました。

「早退」理由は体調不良とのことでした。翌日の朝刊各紙には「私はやっていない」という記者発表の文字が踊り、被害職員の感情を逆なでしたことで、石岡警察署に被害届が提出される流れとなります。その後も徳増議員は議会に姿を見せなかつたため議会は円滑に進み、全議案を可決して定例会は12月19日に終了しました。

### (5) 総務委員会は流会

年が明け、令和2年1月は新年を祝う行事が多数あります。徳増議員は石岡市消防出初式と成人式展に出席。

石岡市議会総務委員会が1月14日に開催予定でしたが、開始時間に委員会室に入室したのは、関口委員長と私（副委員長）、そして徳増議員の3名だけ。総務委員会の定数は8名のため議員控室に戻り各議員に出席要請を行いました。委員会開催要件である出席委員数が半数の4名に満たず、総務委員会は流会となりました。

### (6) 議会の正常化に向けた動き

このまま、徳増議員が会議に出席し各議員が同席を拒否し続けた場合、第1回定例会開催も影響を受けかねません。新年度予算審議ができません。ば予算を可決できません。「やっていない」が継続しており、先行き不透明ですが、議会としての落とし所の模索が続いています。

## 六. 令和2年第1回定例会

令和2年第1回定例会は2月18日告示、2月25日開会です。いずれも午前10時開会です。今期定例会は新年度予算審議が予定されており、黄色く染めた会議は、インターネットで議会の生中継を行っています。録画放映は、会議の1週間後を目安に閲覧できます。いずれも、石岡市議会ホームページからの利用となります。

第1回定例会日程

月日	曜日	会議内容
2月25日	火	開会
26日~3月1日		休会
3月2日	月	一般質問
3月3日	火	一般質問
3月4日	水	一般質問
3月5日	木	議案質疑
3月6日	金	予算特別委員会
7日・8日		休会
3月9日	月	予算特別委員会
3月10日	火	予算特別委員会
3月11日	水	予算特別委員会総括
3月12日	木	教育福祉環境委員会
3月13日	金	総務委員会
14日・15日		休会
3月16日	月	経済建設消防委員会
3月17日	木	議会運営委員会
3月18日	金	採決・閉会

## 七. 石岡みらい創造プロジェクト

石岡市令和2年度の石岡市政のように進めるのを示す令和2年「石岡みらい創造プロジェクト」が議会に示されました。人口減少対策・協働・行政改革、③雇用・産業充実、④魅力アップ・観光交流、⑤安全・安心・快適生活、⑥生涯現役・健康の6つのプロジェクトで構成されています。

これらのプロジェクトを推進するため、令和2年度的一般会計予算は、前年度に比べ3・7%増の344億6千万円。9つの特別会計予算合計は約229億8千万円で提案されています。